
= アンケート調査概要報告書 =

平成25年12月

加 美 町

= 目 次 =

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査手法	2
(4) 回収結果	2
(5) その他	2

2 アンケート調査結果の概要

(1) 回答者の属性について	3
(2) 加美町への意識について	6
(3) 合併後の加美町について	7
(4) 今後の町政のあり方について	9

3. 資 料 編

■アンケート調査票

1 アンケート調査の概要

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、町民の意識、動向並びに町の施策・まちづくりに対する要望等を把握し、町民との協働によるまちづくりを推進するため、「新町建設計画」並びに「第1次加美町総合計画」に基づく施策に対する満足度、重要度及び将来の課題を調査し、行政サービスの向上と「第2次加美町総合計画」策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

(2) 調査項目

調査項目及び内容については、第1次加美町総合計画の施策の体系に基づき、以下に示す項目を基本としこれまでのまちづくり、町政についての満足度・重要度等を把握します。

調査項目	調査内容
回答者の属性について	・男女別、年齢別、居住地区別、居住年数、世帯数、続柄、職業別に回答者の属性を把握する。
加美町への意識について	・合併後の加美町への町民の意識を把握する。 ・町民が認識する加美町の特長・特色を把握する。
合併後の加美町について	・合併による効果と課題を把握し、行政サービス改善策を模索する。
今後の町政のあり方について	・6つの政策体系ごとに、事業効果や町民の満足度及び加美町として重点を置くべき事項について把握する。 「Ⅰ. 自然と共生する地球にやさしいまち」について 「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について 「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について 「Ⅳ. 魅力・やりがいでのぎわいのあるまち」について 「Ⅴ. だれもが楽しく学べるまち」について 「Ⅵ. 住民と行政の協働による自立するまち」について

(3) 調査手法

調査手法は、以下に示すとおりです。

- ・ 調査区域：加美町全域
- ・ 調査対象：満20歳以上の2,000人
- ・ 調査方法：郵送による配布・回収
- ・ 調査期間：平成24年12月1日（土）～12月18日（火）

(4) 回収結果

アンケート調査の回収結果は、下記のとおりです。

	配 布 数	回 収 数	回 収 率
回 収 率	2,000 人	923 人	46.1%

(5) その他

○基本的属性項目及び基本的質問項目の数値等についての共通の基本的な事項

- ① 比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、見た目の各比率を合計すると、全体の合計比率（単一回答であれば100％）をわずかに上下する場合があります。
- ② 基数となる数（各属性別の該当者数）を、「(n=〇〇〇)」として記載しており、各比率はnを100％として算出しています。

○基本的属性項目の数値等についてのその他の基本的な事項

- ① 集計は、全体集計のみ行っています。
- ② 集計結果のグラフは、選択肢毎の構成比を表現した合計比率を100％とする円グラフとしています。

○基本的質問事項の数値等についてのその他の基本的な事項

- ① 集計は、全体・性別・地区別・年代別の各属性の別に行っています。

2 アンケート調査結果の概要

2 アンケート調査結果の概要

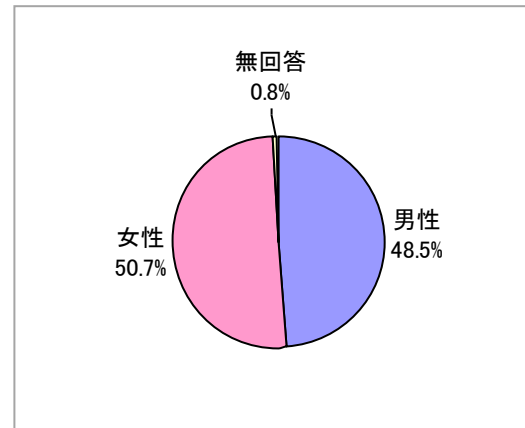
(1) 回答者の属性について

○性別

回答者 923 名のうち、男性が 448 人（48.5%）、女性が 468 人（50.7%）でした。

全体

	回答数(人)	割合
男性	448	48.5%
女性	468	50.7%
無回答	7	0.8%
計	923	100.0%

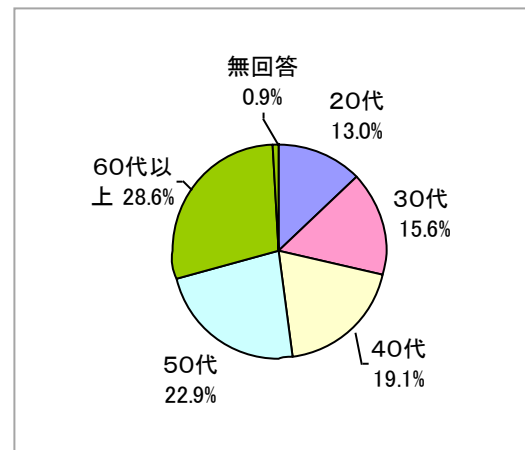


○年齢

回答者の年齢別構成比は、60 歳代以上が 28.6%と最も多く、最も少ないのは 20 歳代でした。

全体

	回答数(人)	割合
20代	120	13.0%
30代	144	15.6%
40代	176	19.1%
50代	211	22.9%
60代以上	264	28.6%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%

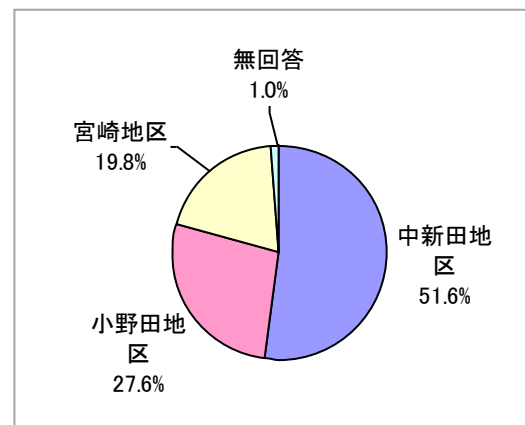


○居住地区

回答者の居住地区別構成比は「中新田地区」が 51.6%、「小野田地区」は 27.6%、「宮崎地区」は 19.8%でした。

全体

	回答数(人)	割合
中新田地区	476	51.6%
小野田地区	255	27.6%
宮崎地区	183	19.8%
無回答	9	1.0%
計	923	100.0%

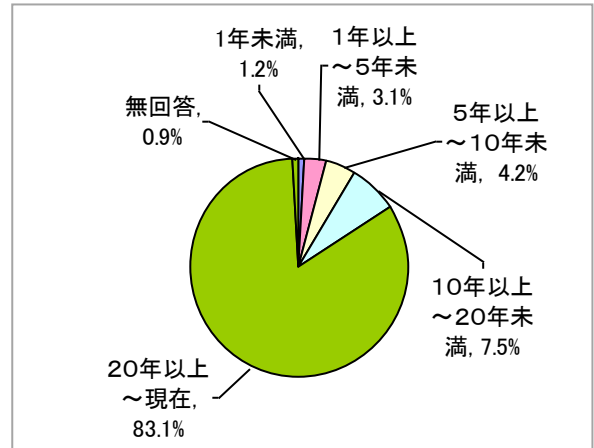


2 アンケート調査結果の概要

○居住年数

回答者の居住年数は「20年以上～現在」が83.1%と最も多く、「1年未満」が最も少なく、1.2%でした。

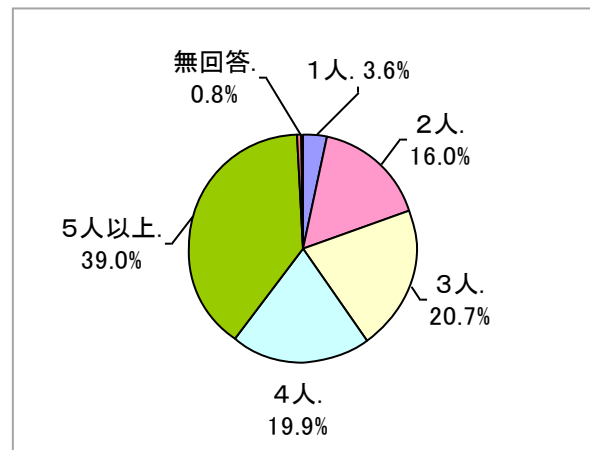
全体		
	回答数(人)	割合
1年未満	11	1.2%
1年以上～5年未満	29	3.1%
5年以上～10年未満	39	4.2%
10年以上～20年未満	69	7.5%
20年以上～現在	767	83.1%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%



○世帯人数

回答者の世帯人数は「5人以上世帯」が39.0%と最も多く、続いて「3人世帯」が20.7%、「4人世帯」が19.9%、最も少ないのは「1人世帯」で3.6%でした。

全体		
	回答数(人)	割合
1人	33	3.6%
2人	148	16.0%
3人	191	20.7%
4人	184	19.9%
5人以上	360	39.0%
無回答	7	0.8%
計	923	100.0%



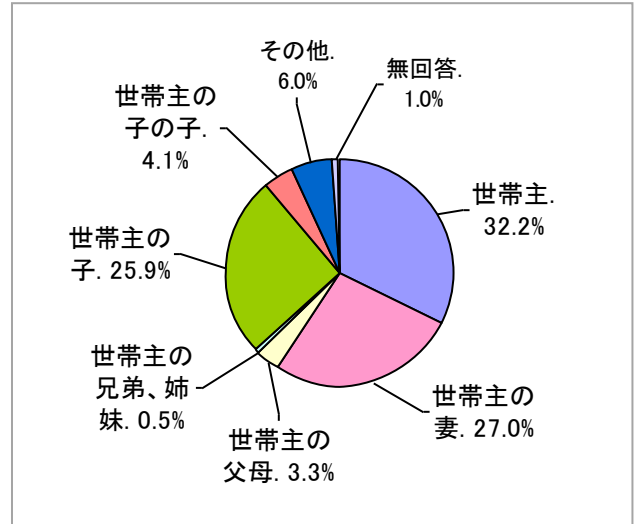
2 アンケート調査結果の概要

○世帯主との続柄

回答者で最も多いのが「世帯主」の32.2%で、続いて「世帯主の妻」（27.1%）、「世帯主の子」（25.9%）の順となっております。

全体

	回答数(人)	割合
世帯主	297	32.2%
世帯主の妻	250	27.0%
世帯主の父母	30	3.3%
世帯主の兄弟、姉妹	5	0.5%
世帯主の子	239	25.9%
世帯主の子の子	38	4.1%
その他	55	6.0%
無回答	9	1.0%
計	923	100.0%



その他の内訳

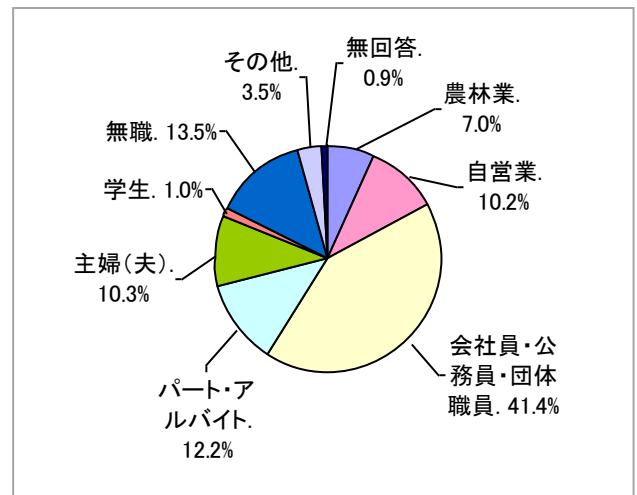
	回答数(人)
世帯主の子の妻	37
世帯主の子の夫	4
世帯主の甥	1
世帯主の妻の弟	1
世帯主の子の子の妻	1
世帯主の孫	1
同居人	1
複数回答(世帯主・世帯主の妻・世帯主の父母)	1
未記入	8
計	55

○職業

回答者の職業は「会社員・公務員・団体職員」が41.4%で最も多く、「学生」が最も少なく、1.0%でした。

全体

	回答数(人)	割合
農林業	65	7.0%
自営業	94	10.2%
会社員・公務員・団体職員	382	41.4%
パート・アルバイト	113	12.2%
主婦(夫)	95	10.3%
学生	9	1.0%
無職	125	13.5%
その他	32	3.5%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%



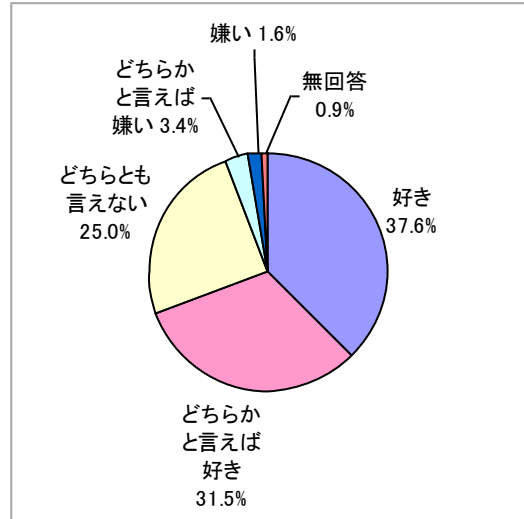
2 アンケート調査結果の概要

(2) 加美町への意識について

質問1 あなたは加美町が好きか。

「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した人は合わせて69.1%となっています。

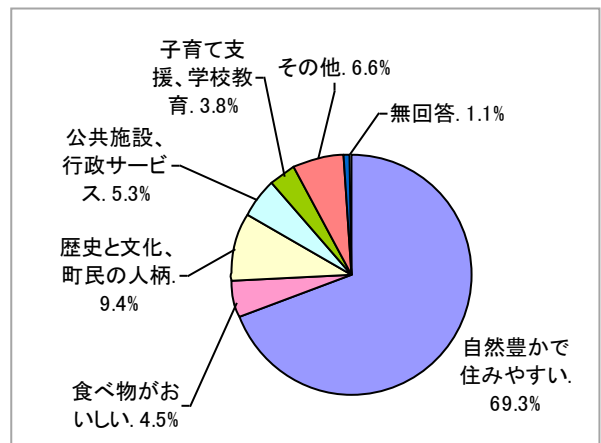
	回答数(人)	割合
好き	347	37.6%
どちらかと言えば好き	291	31.5%
どちらとも言えない	231	25.0%
どちらかと言えば嫌い	31	3.4%
嫌い	15	1.6%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%



質問2 加美町のどんなところが好きか。

「自然豊かで住みやすい」が69.3%と最も多くなっています。その他では、「生まれ育った町だから」、「災害に強い」等が挙げられます。

	回答数(人)	割合
自然豊かで住みやすい	442	69.3%
食べ物がおいしい	29	4.5%
歴史と文化、町民の人柄	60	9.4%
公共施設、行政サービス	34	5.3%
子育て支援、学校教育	24	3.8%
その他	42	6.6%
無回答	7	1.1%
計	638	100.0%



2 アンケート調査結果の概要

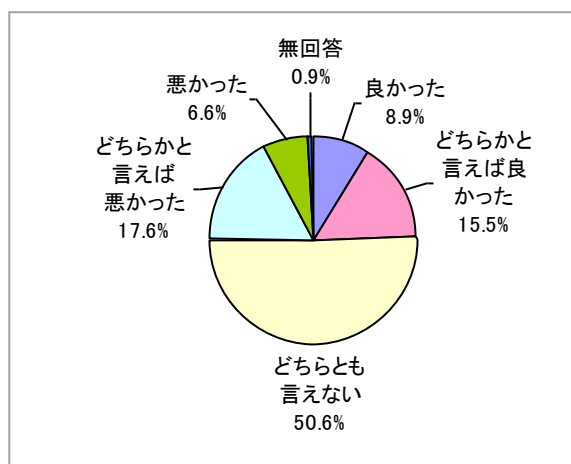
(3) 合併後の加美町について

質問3 平成15年4月1日に「加美町」となったことについて

○合併により「加美町」となって良かったか。

「どちらともいえない」が50.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば悪かった」が17.6%、「どちらかといえばよかった」15.5%となっています。

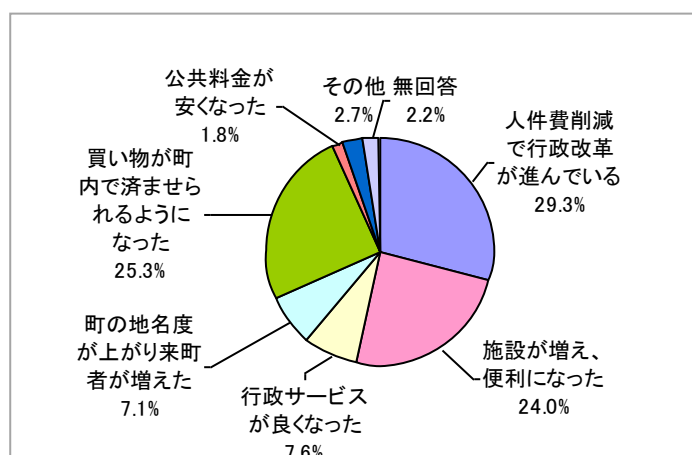
	回答数(人)	割合
良かった	82	8.9%
どちらかと言えば良かった	143	15.5%
どちらともいえない	467	50.6%
どちらかと言えば悪かった	162	17.6%
悪かった	61	6.6%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%



○合併して良かったと思われること。

「人件費削減で行政改革が進んでいる」が29.3%で最も多い意見でした。

	回答数(人)	割合
人件費削減で行政改革が進んでいる	66	29.3%
施設が増え、便利になった	54	24.0%
行政サービスが良くなった	17	7.6%
町の知名度が上がり来町者が増えた	16	7.1%
買い物が町内で済ませられるようになった	57	25.3%
公共料金が安くなった	4	1.8%
その他	6	2.7%
無回答	5	2.2%
計	225	100.0%

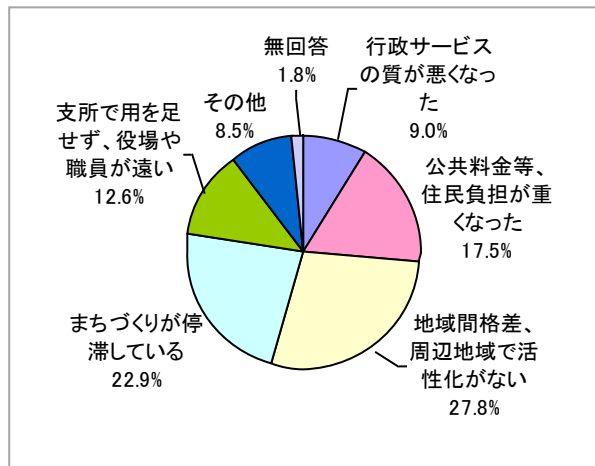


2 アンケート調査結果の概要

○合併して悪くなったと思われること。

「地域間格差、周辺地域で活性化がない」が27.8%で最も多く、次いで「まちづくりが停滞している」が22.9%となっています。その他として「職員の顔が分からないので相談しづらい」等があげられました。

	回答数(人)	割合
行政サービスが悪くなった	20	9.0%
公共料金等、住民負担が重くなった	39	17.5%
地域間格差、周辺地域で活性化がない	62	27.8%
まちづくりが停滞している	51	22.9%
支所で用を足せず、役場や職員が遠い	28	12.6%
その他	19	8.5%
無回答	4	1.8%
計	223	100.0%

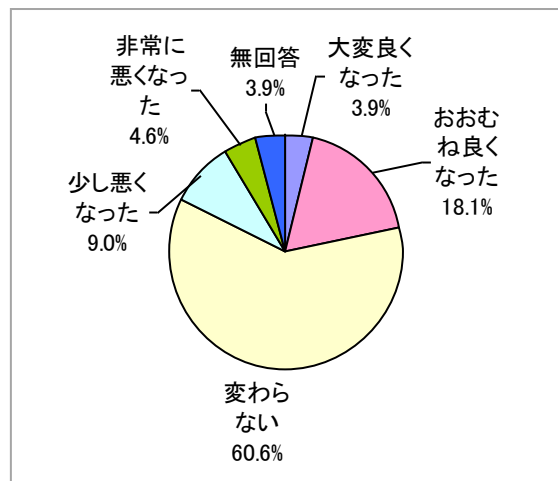


質問4 町の職員について

○役場に来庁した際、又は役場に電話した際の職員の対応について。

「変わらない」が60.6%で最も多く、次いで「おおむね良くなった」が18.1%でした。

	回答数(人)	割合
大変良くなった	36	3.9%
おおむね良くなった	167	18.1%
変わらない	559	60.6%
少し悪くなった	83	9.0%
非常に悪くなった	42	4.6%
無回答	36	3.9%
計	923	100.0%



2 アンケート調査結果の概要

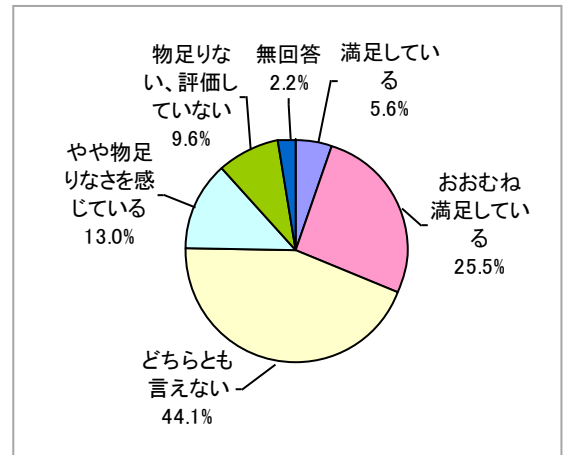
(4) 「加美町総合計画」(計画期間：平成17年～平成26年度)の6つの政策体系について

「I. 自然と共生する地球にやさしいまち」について

○新エネルギー導入事業の取り組みについての満足度。

「どちらとも言えない」と回答した人が44.1%と最も多く、「満足している」「おおむね満足している」の合計は31.1%でした。

	回答数(人)	割合
満足している	52	5.6%
おおむね満足している	235	25.5%
どちらとも言えない	407	44.1%
やや物足りなさを感じている	120	13.0%
物足りない、評価していない	89	9.6%
無回答	20	2.2%
計	923	100.0%

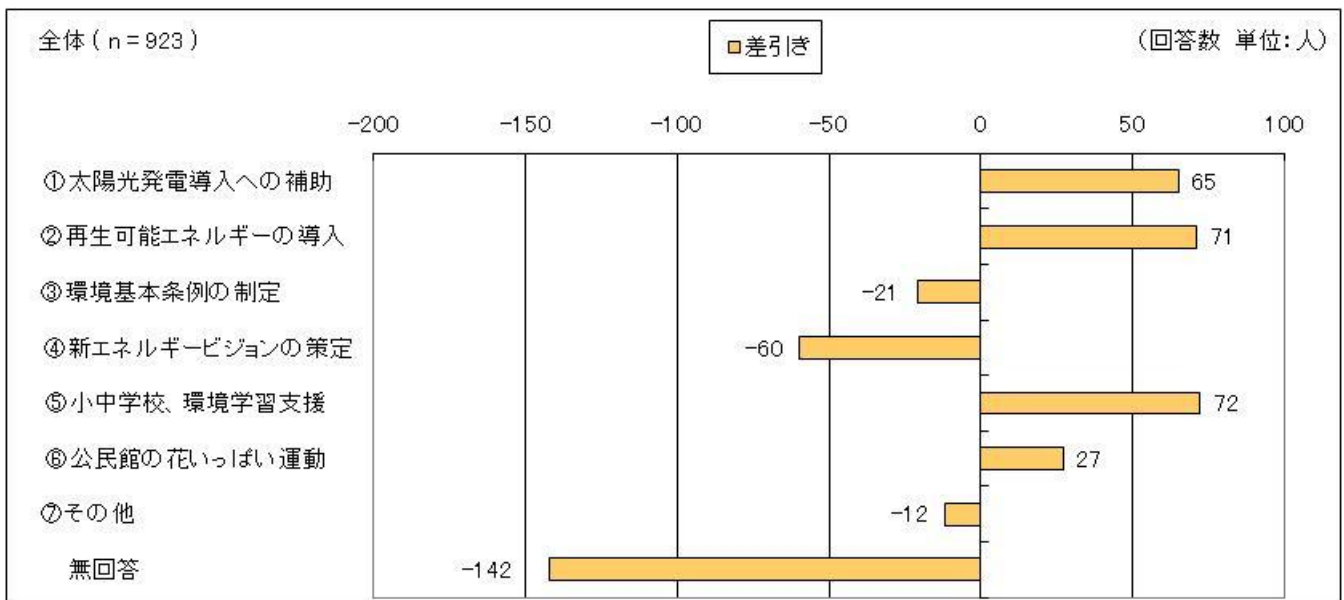
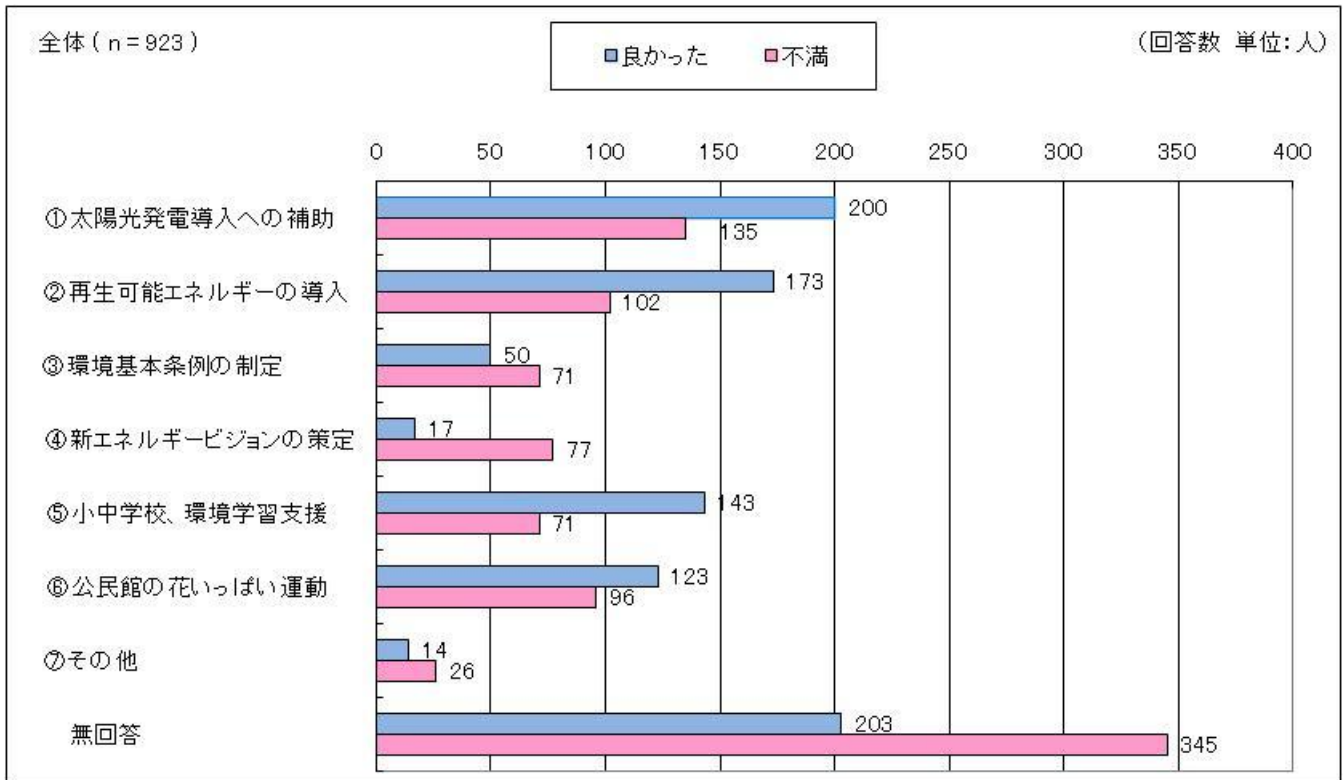


○町が行ってきた事業について良かったと思う事業、不満に思った事業について。

「良かった」と思う回答数から「不満」と思う回答数を差引すると、「小中学校、環境学習支援」が72件、「再生エネルギーの導入」が71件、「太陽光発電導入への補助」が65件、「公民館の花いっぱい運動」が27件のプラス評価となった一方、「環境基本条例の制定」は-21件、「新エネルギービジョンの制定」は-60件のマイナス評価となりました。

項目	良かった		不満	
	回答数(人)	回答比(%)	回答数(人)	回答比(%)
1 太陽光発電導入への補助	200	21.7	135	14.6
2 再生エネルギーの導入	173	18.7	102	11.1
3 環境基本条例の制定	50	5.4	71	7.7
4 新エネルギービジョンの制定	17	1.8	77	8.3
5 小中学校、環境学習支援	143	15.5	71	7.7
6 公民館の花いっぱい運動	123	13.3	96	10.4
7 その他	14	1.5	26	2.8
8 無回答	203	22.0	345	37.4
計	923	100.0	923	100.0

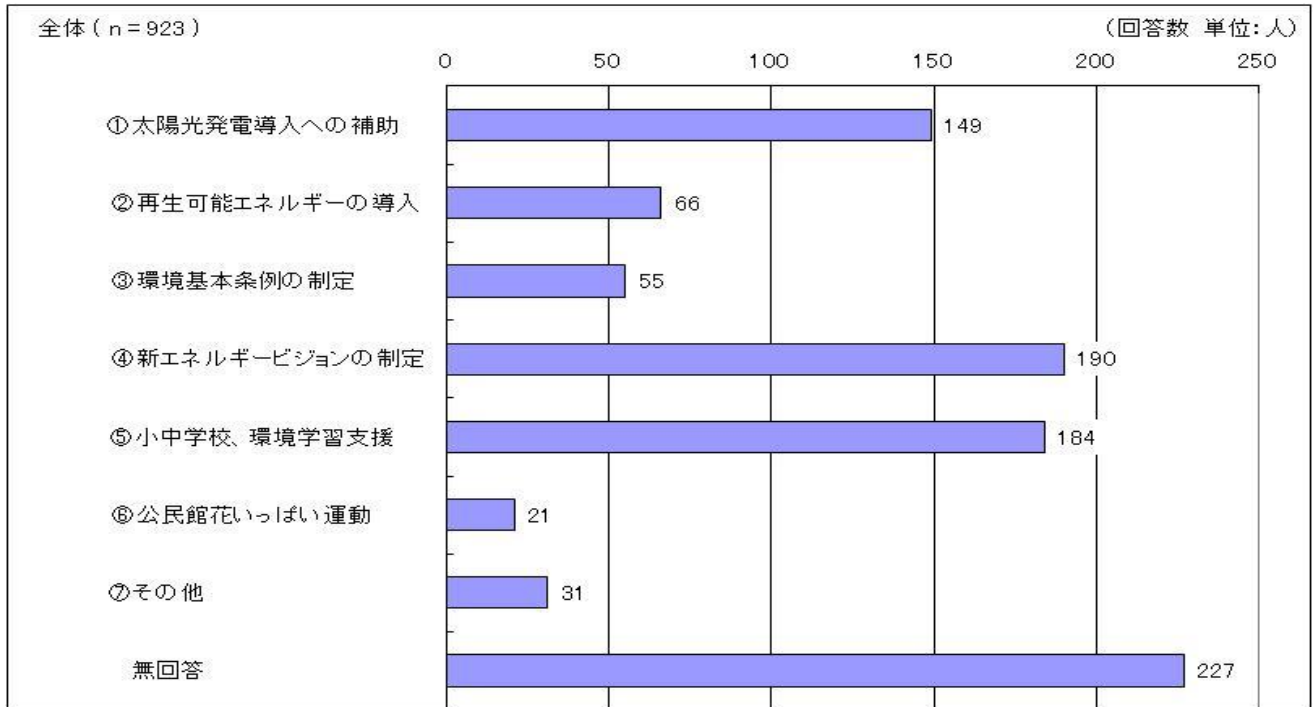
2 アンケート調査結果の概要



2 アンケート調査結果の概要

○自然と共生する分野について力を入れるべきと思う事業や政策について。

集計結果から、今後、町で力を入れていってほしい事業の順位は、「新エネルギービジョンの策定」190件、「小中学校、環境学習支援」184件、「太陽光発電導入への補助」149件、「再生エネルギーの導入」66件、「環境基本条例の制定」55件、「その他」31件、「公民館の花いっぱい運動」21件でした。



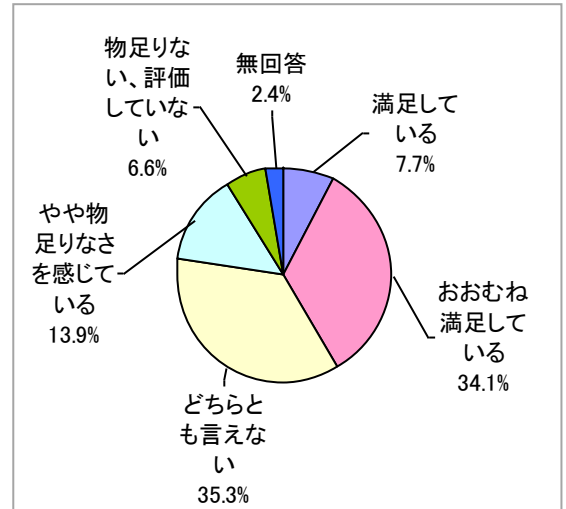
2 アンケート調査結果の概要

「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

○医療・介護サービス、各種保健福祉サービスの取り組みについての満足度。

「どちらとも言えない」と回答した人が35.3%と最も多く、最も少ないのは「物足りない、評価していない」の6.6%でした。

	回答数(人)	割合
満足している	71	7.7%
おおむね満足している	315	34.1%
どちらとも言えない	326	35.3%
やや物足りなさを感じている	128	13.9%
物足りない、評価していない	61	6.6%
無回答	22	2.4%
計	923	100.0%

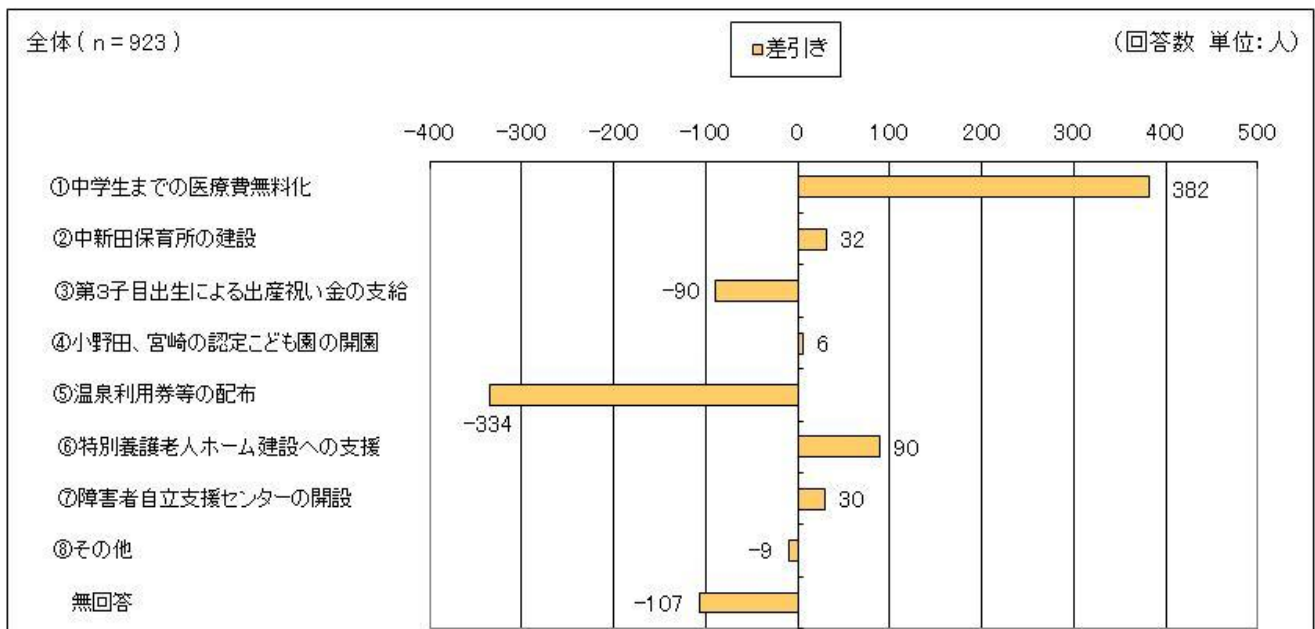
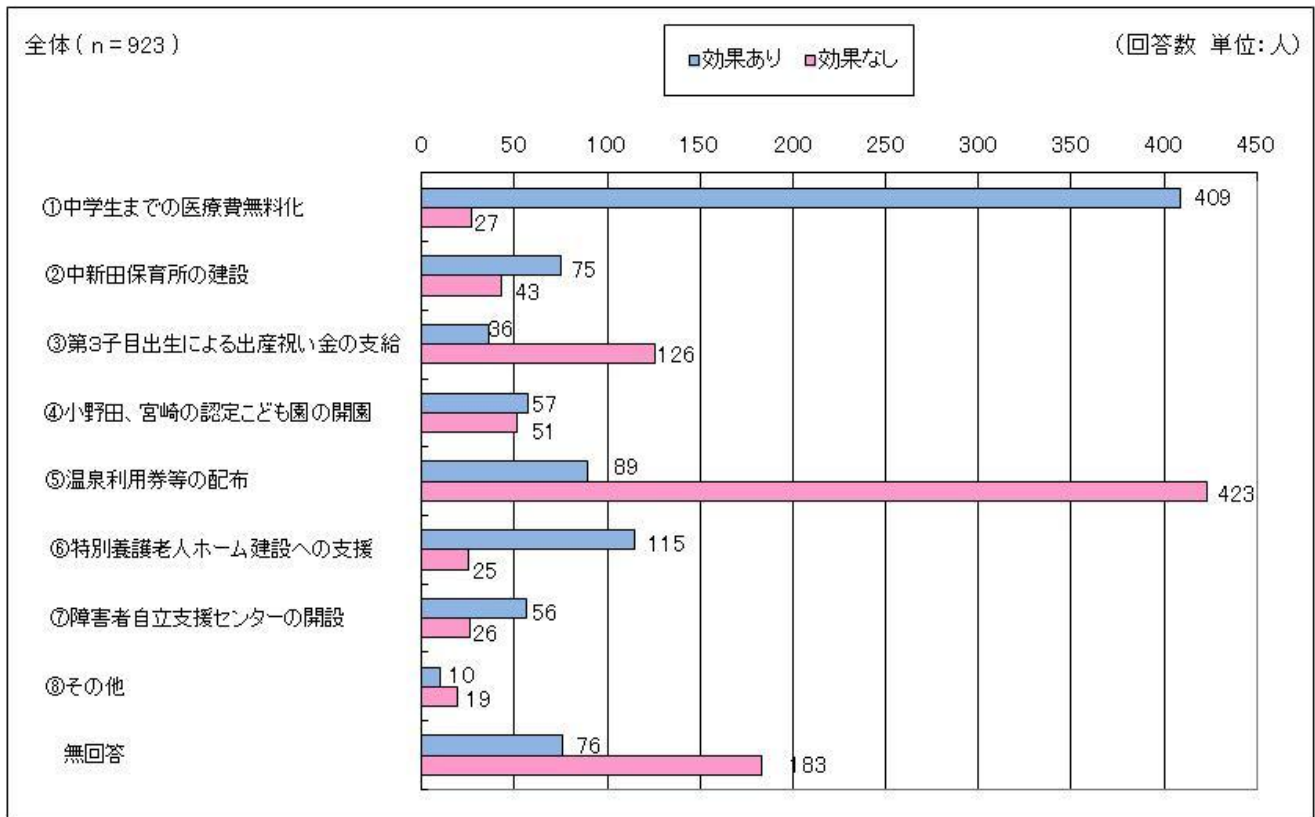


○町が行ってきた事業について効果のあったと思う事業、効果のなかったと思う事業について。

「効果あり」と思う回答数から「効果なし」と思う回答数を差引きすると、「中学生までの医療費無料化」が382件、「特別養護老人ホーム建設への支援」が90件、「中新田保育所の建設」が32件、「障害者自立支援センターの開設」が30件、「小野田、宮崎の認定こども園の開園」が6件のプラス評価となった一方、「第3子目出生による出産祝い金の支給」がー90件、「温泉利用券等の配布」がー334件のマイナス評価になりました。

項 目	効果あり		効果なし	
	回答数(人)	回答比(%)	回答数(人)	回答比(%)
1 中学生までの医療費無料化	409	44.3	27	2.9
2 中新田保育所の建設	75	8.1	43	4.7
3 第3子目出生による出産祝い金の支給	36	3.9	126	13.7
4 小野田、宮崎の認定こども園の開園	57	6.2	51	5.5
5 温泉利用券等の配布	89	9.6	423	45.8
6 特別養護老人ホーム建設への支援	115	12.5	25	2.7
7 障害者自立支援センターの開設	56	6.1	26	2.8
8 その他	10	1.1	19	2.1
9 無回答	76	8.2	183	19.8
計	923	100.0	923	100.0

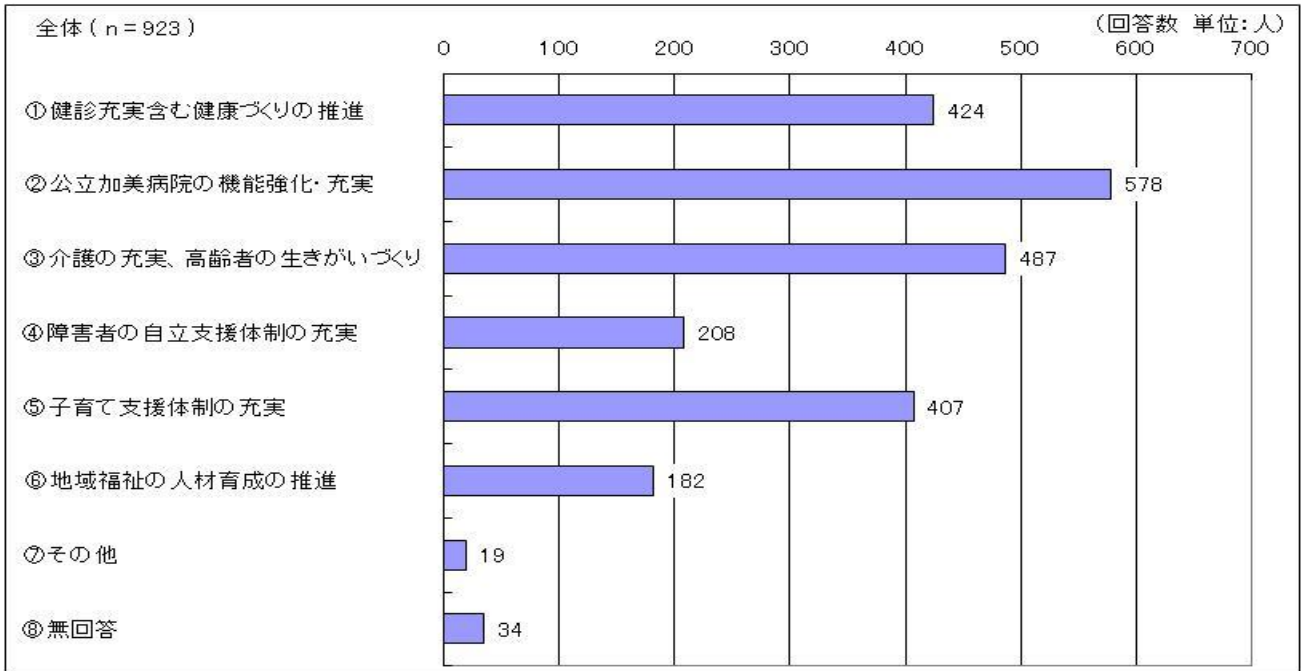
2 アンケート調査結果の概要



2 アンケート調査結果の概要

○保健医療福祉の分野で力を入れるべきと思う事業や政策について。

集計の結果から、保健医療福祉の分野で、今後、町が力を入れていってほしい事業や政策の順位は、「公立加美病院の機能強化・充実」578件、「介護の充実、高齢者の生きがいづくり」487件、「健診充実含む健康づくりの推進」424件、「子育て支援体制の充実」407件、「障害者の自立支援体制の充実」208件、「地域福祉の人材育成の推進」182件でした。



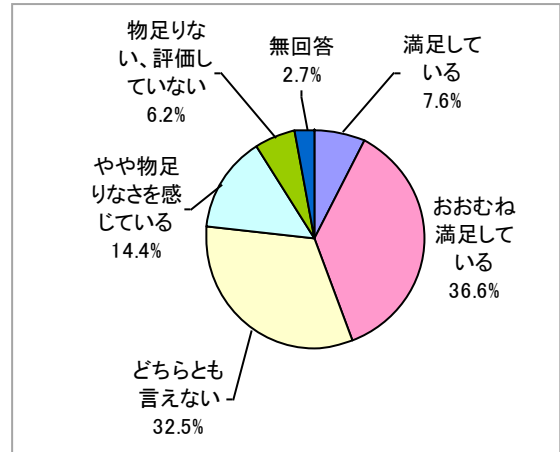
2 アンケート調査結果の概要

「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について

○インフラ整備、危機管理体制の見直し等の取り組みについての満足度。

「おおむね満足している」と回答した人が36.6%と最も多く、最も少ないのは「物足りない、評価していない」の6.2%でした。

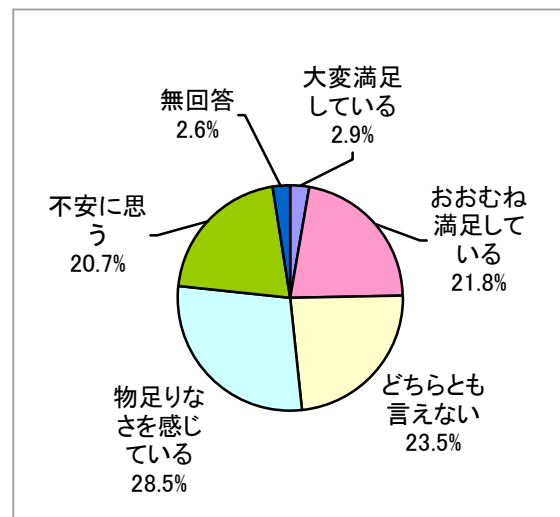
	回答数(人)	割合
満足している	70	7.6%
おおむね満足している	338	36.6%
どちらとも言えない	300	32.5%
やや物足りなさを感じている	133	14.4%
物足りない、評価していない	57	6.2%
無回答	25	2.7%
計	923	100.0%



○災害時における町の対応について

「物足りなさを感じている」と回答した人が28.5%と最も多く、「大変満足している」「おおむね満足している」は24.7%でした。

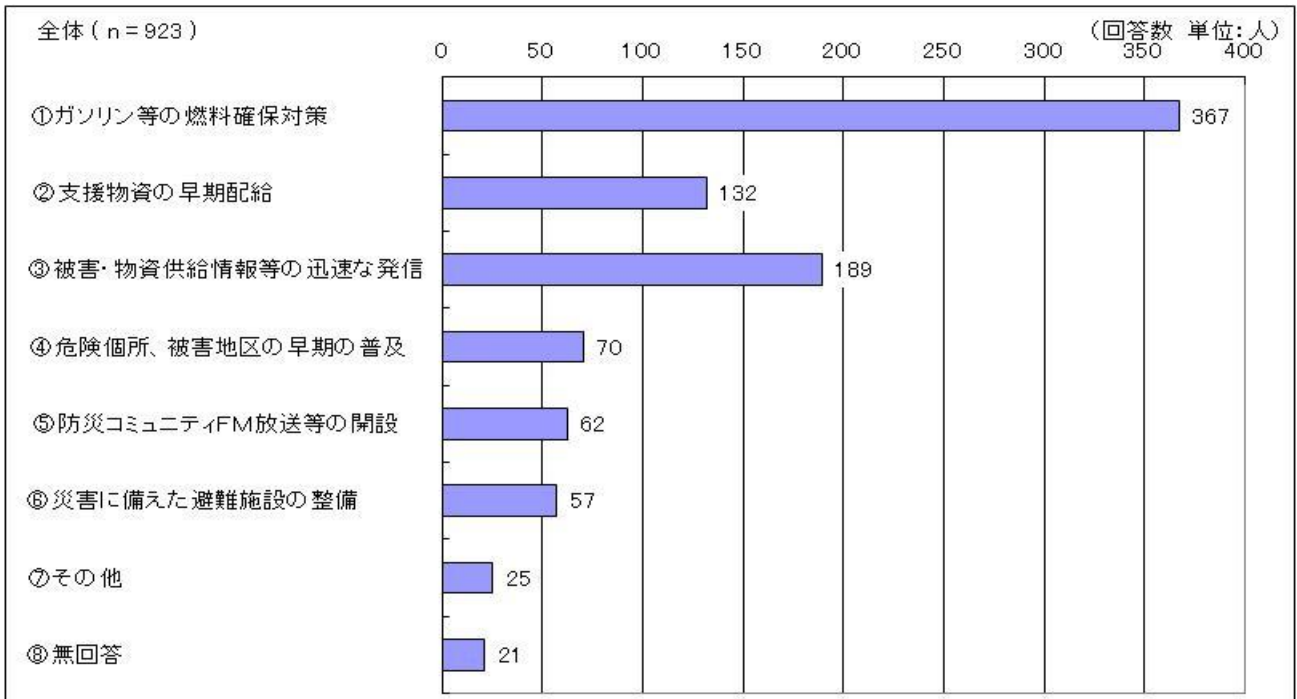
	回答数(人)	割合
大変満足している	27	2.9%
おおむね満足している	201	21.8%
どちらとも言えない	217	23.5%
物足りなさを感じている	263	28.5%
不安に思う	191	20.7%
無回答	24	2.6%
計	923	100.0%



2 アンケート調査結果の概要

○今後、自然災害が発生した場合に町に望むことについて。

「ガソリン等の燃料確保対策」が367件と最も多く、次いで「被害・物資供給情報等の迅速な発信」の189件でした。その他では「広報車の有効活用」「無線等を利用した通信手段の確保」が挙げられています。

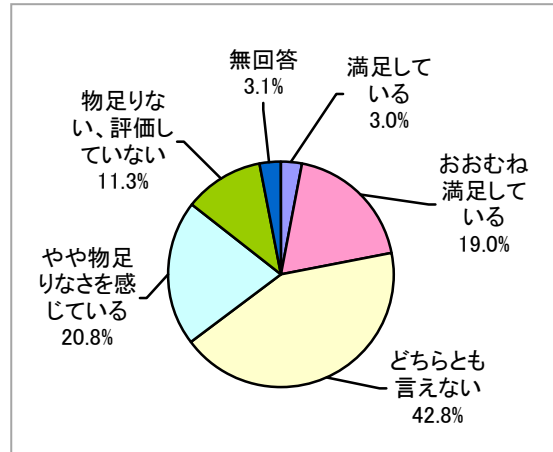


「Ⅳ. 魅力・やりがいでのぎわいのあるまち」について

○地場産業の振興、観光産業の充実、企業の誘致等の取組についての満足度。

「どちらとも言えない」と回答した人が42.8%と最も多く、「大変満足している」「おおむね満足している」は22.0%でした。

	回答数(人)	割合
大変満足している	28	3.0%
おおむね満足している	175	19.0%
どちらとも言えない	395	42.8%
物足りなさを感じている	192	20.8%
不安に思う	104	11.3%
無回答	29	3.1%
計	923	100.0%

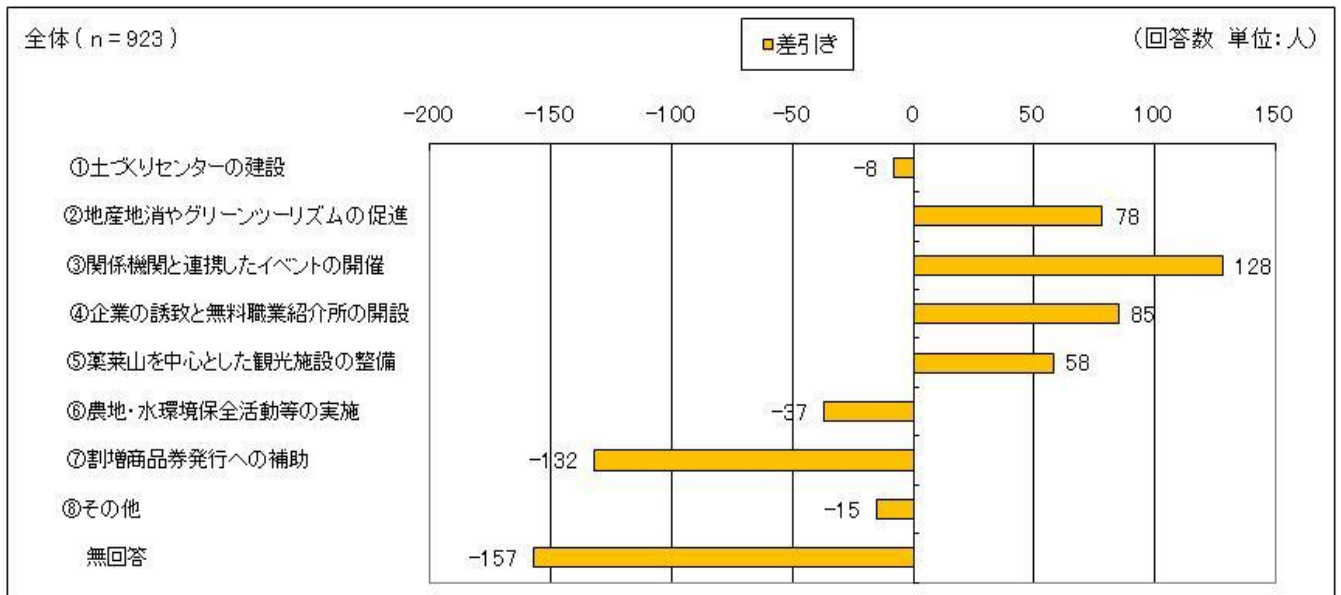
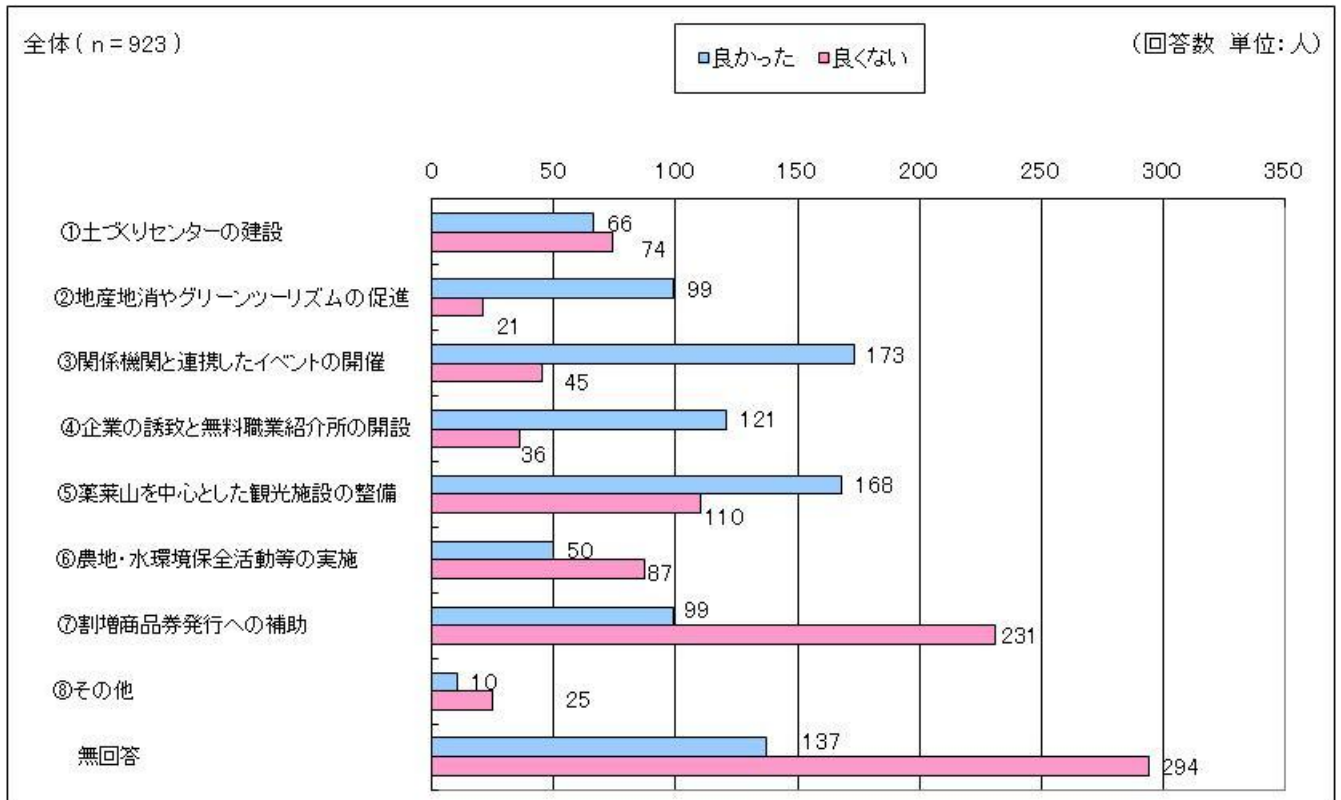


○町が行ってきた施策について、効果のあったと思う事業、効果のなかったと思う事業について。

「良かった」と思う回答数から「良くない」と思う回答数を差引すると、「関係機関と連携したイベントの開催」が128件、「企業の誘致と無料職業紹介所の開設」が85件、「地産地消やグリーンツーリズムの促進」が78件、「薬菜山を中心とした観光施設の整備」が58件のプラス評価となった一方、「土づくりセンターの建設」が-8件、「農地・水環境保全活動の実施」が-37件、「割増商品券への補助」が-132件のマイナス評価になりました。

項 目	良かった		良くない	
	回答数(人)	回答比(%)	回答数(人)	回答比(%)
1 土づくりセンターの建設	66	7.2	74	8.0
2 地産地消やグリーンツーリズムの促進	99	10.7	21	2.3
3 関係機関と連携したイベントの開催	173	18.7	45	4.9
4 企業の誘致と無料職業紹介所の開設	121	13.1	36	3.9
5 薬菜山を中心とした観光施設の整備	168	18.2	110	11.9
6 農地・水環境保全活動等の実施	50	5.4	87	9.4
7 割増商品券発行への補助	99	10.7	231	25.0
8 その他	10	1.1	25	2.7
9 無回答	137	14.8	294	31.9
計	923	100.0	923	100.0

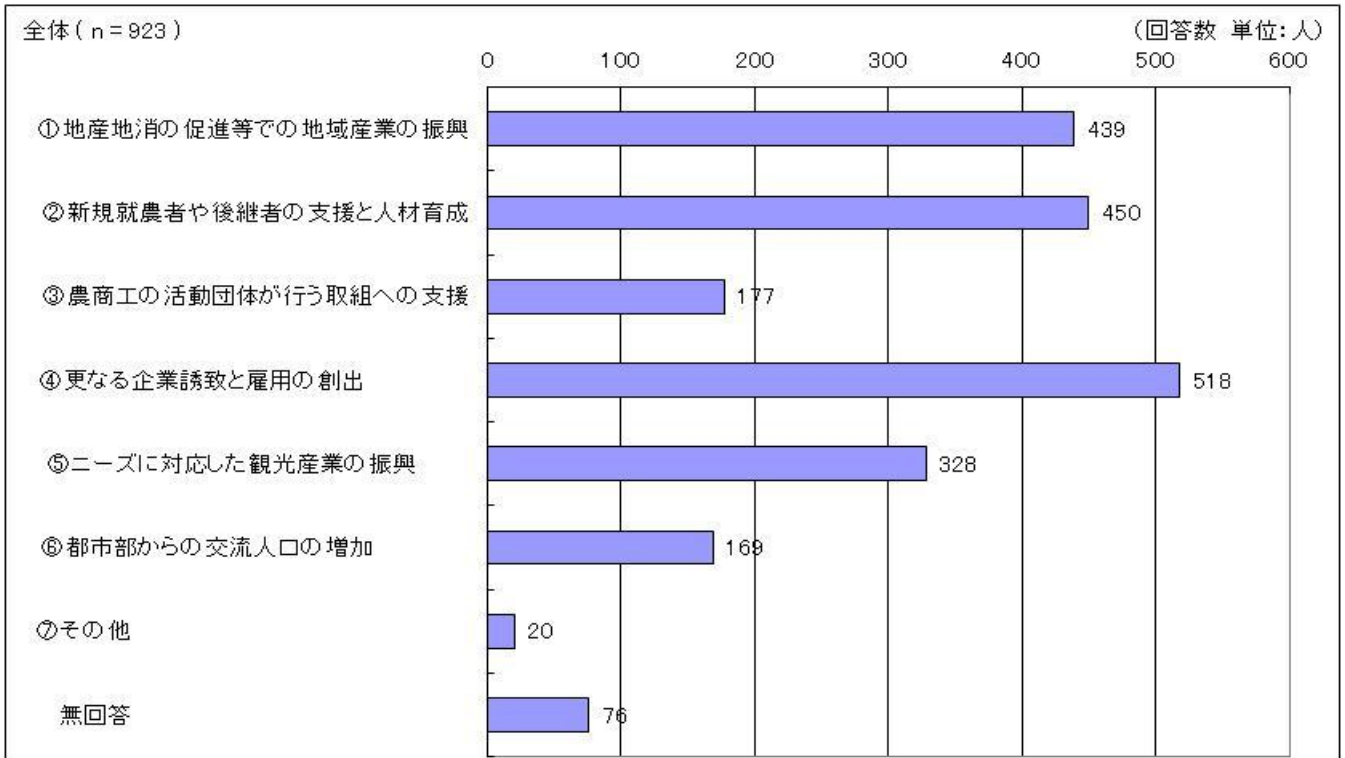
2 アンケート調査結果の概要



2 アンケート調査結果の概要

○農林・商工の分野で、重点的に実施すべき施策について

集計の結果から、農林・商工の分野で、今後、町が重点的に実施してほしい施策の順位は、「更なる企業誘致と雇用の創出」518件、「新規就農者や後継者の支援と人材育成」450件、「地産地消の促進等での地域産業の振興」439件、「ニーズに対応した観光産業の振興」328件、「農商工の活動団体が行う取組への支援」177件、「都市部からの交流人口の増加」169件でした。



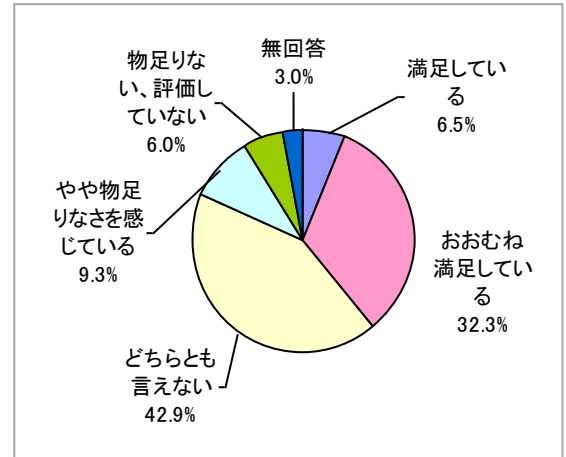
2 アンケート調査結果の概要

「Ⅴ. だれもが楽しく学べるまち」について

○生涯学習等の充実、芸術・伝統文化の保護継承活動等についての満足度。

「どちらともいえない」と回答した人が42.9%と最も多く、もっとも少ないのは「物足りない、評価していない」の6.0%でした。

	回答数(人)	割合
大変満足している	60	6.5%
おおむね満足している	298	32.3%
どちらとも言えない	396	42.9%
やや物足りなさをやや感じている	86	9.3%
物足りない、評価していない	55	6.0%
無回答	28	3.0%
計	923	100.0%

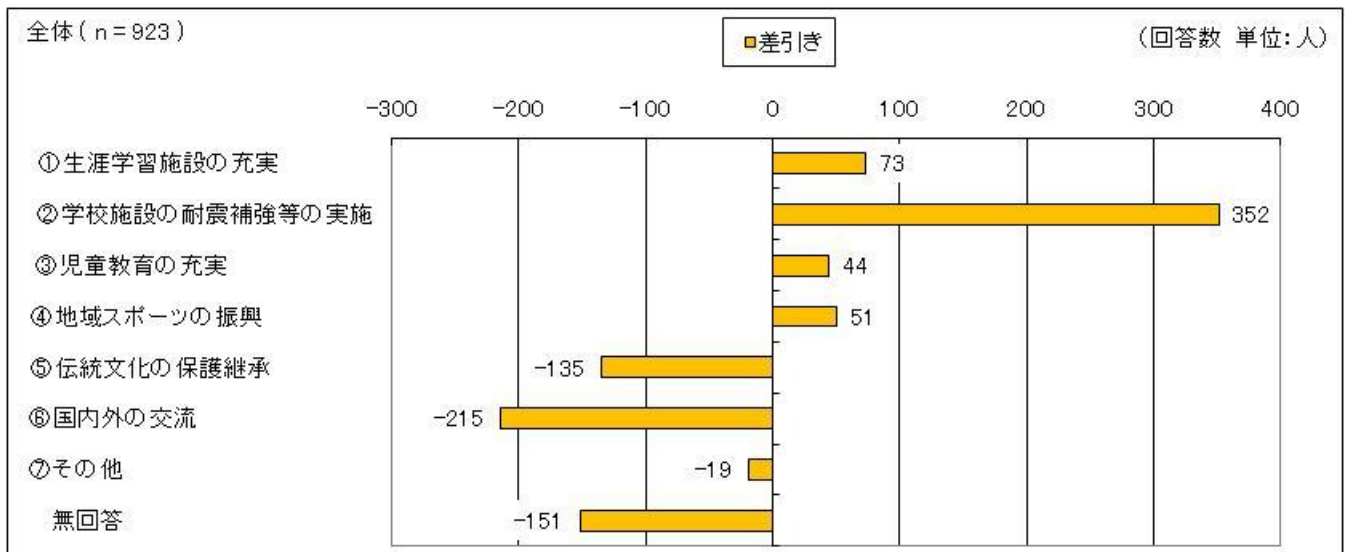
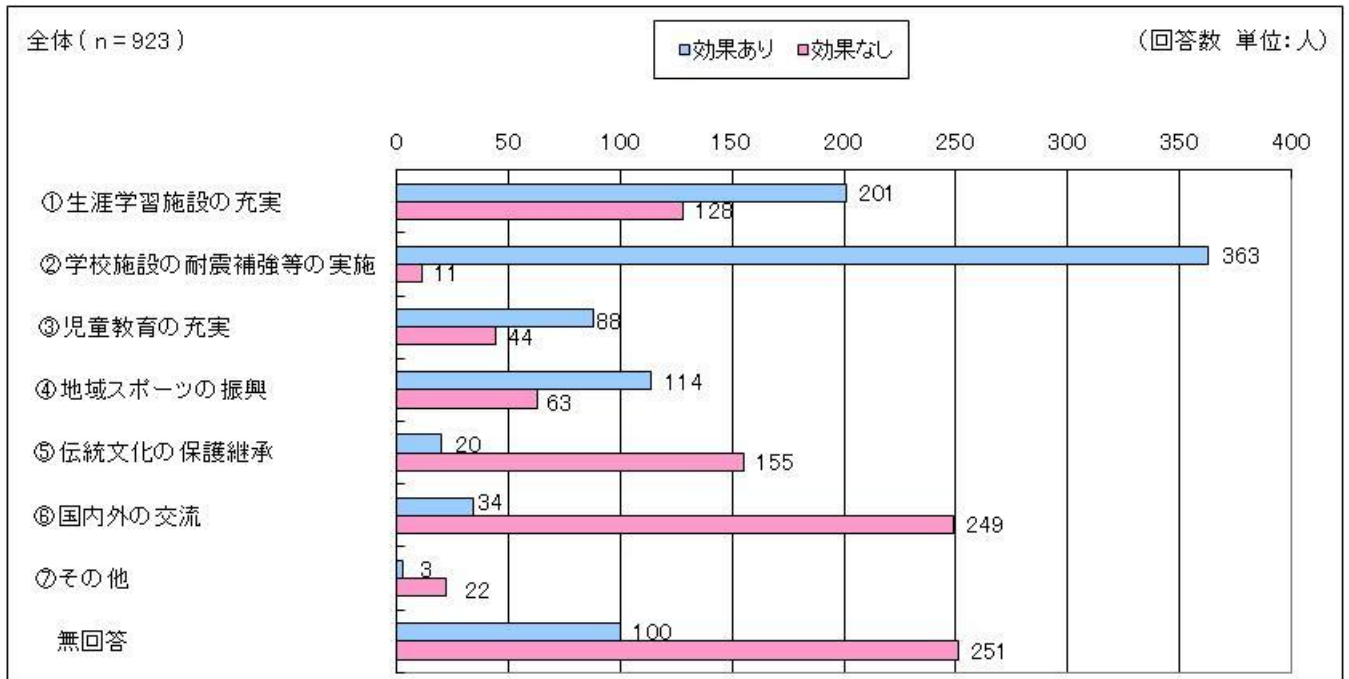


○町が行ってきた施策について、効果のあったと思う事業、効果のなかったと思う事業について。

「効果あり」と思う回答数から「効果なし」と思う回答数を差引すると、「学校施設の耐震補強等の実施」が352件、「生涯学習施設の充実」が73件、「地域スポーツの振興」が51件、「児童教育の充実」が44件のプラス評価となった一方、「伝統文化の保護継承」が-135件、「国内外の交流」が-215件のマイナス評価になりました。

項 目	効果あり		効果なし	
	回答数(人)	回答比(%)	回答数(人)	回答比(%)
1 生涯学習施設の充実	201	21.8	128	13.9
2 学校施設の耐震補強等の充実	363	39.3	11	1.2
3 児童教育の充実	88	9.5	44	4.8
4 地域スポーツの振興	114	12.4	63	6.8
5 伝統文化の保護継承	20	2.2	155	16.8
6 国内外の交流	34	3.7	249	27.0
7 その他	3	0.3	22	2.4
8 無回答	100	10.8	251	27.2
計	923	100.0	923	100.0

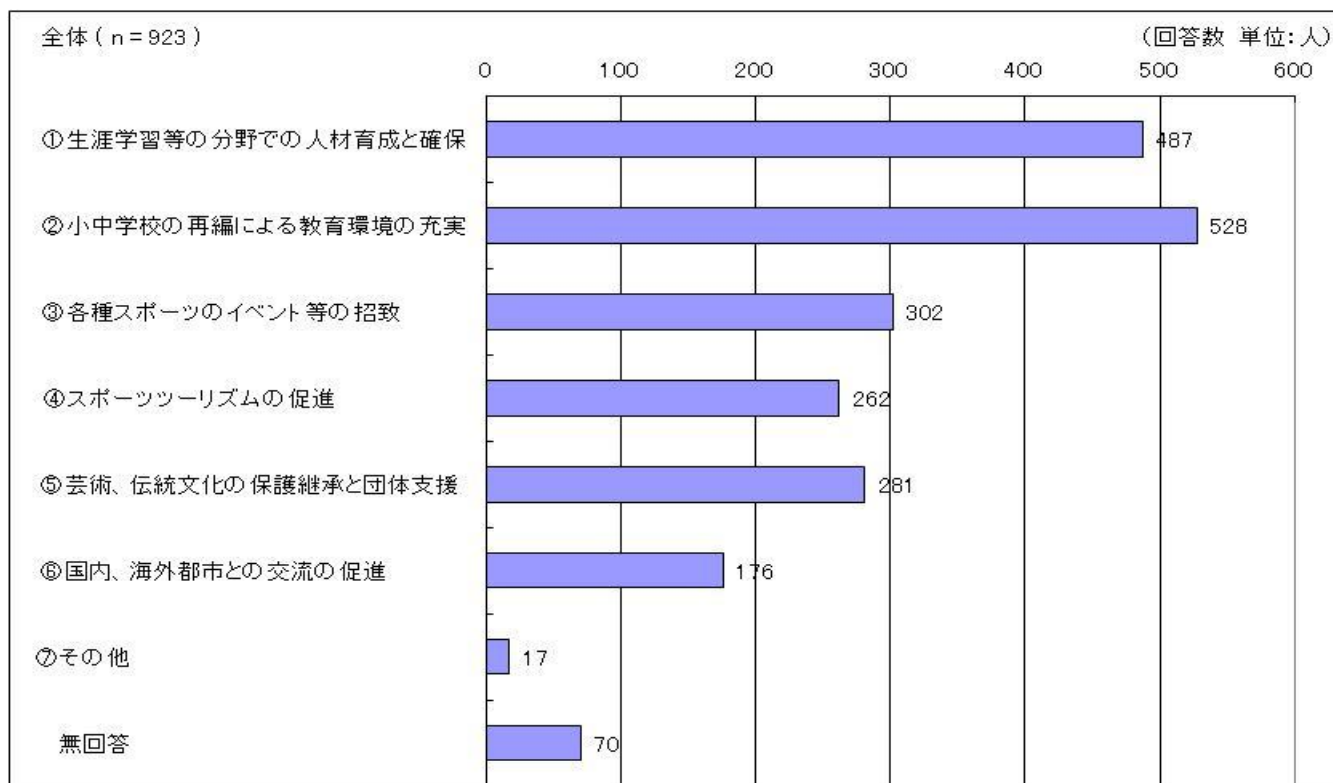
2 アンケート調査結果の概要



2 アンケート調査結果の概要

○生涯学習・学校教育分野で重点的に実施すべき施策について

集計の結果から、生涯学習・学校教育の分野で、町が重点的に実施してほしい施策の順位は、「小中学校再編による教育環境の充実」528件、「生涯学習等の分野での人材育成と確保」487件、「各種スポーツのイベント等の招致」302件、「芸術、伝統文化の保護継承と団体支援」281件、「スポーツツーリズムの促進」262件、「国内、海外都市との交流会の促進」176件でした。



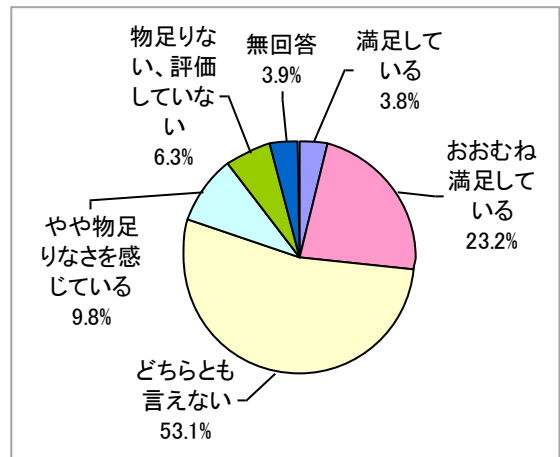
2 アンケート調査結果の概要

「Ⅵ. 住民と行政の協働による自立するまち」について

○コミュニティ活動等の推進、行財政改革の取組についての満足度。

「どちらともいえない」と回答した人が53.1%と最も多く、「大変満足している」「おおむね満足している」は27.0%でした。

	回答数(人)	割合
大変満足している	35	3.8%
おおむね満足している	214	23.2%
どちらとも言えない	490	53.1%
物足りなさを感じている	90	9.8%
不安に思う	58	6.3%
無回答	36	3.9%
計	923	100.0%

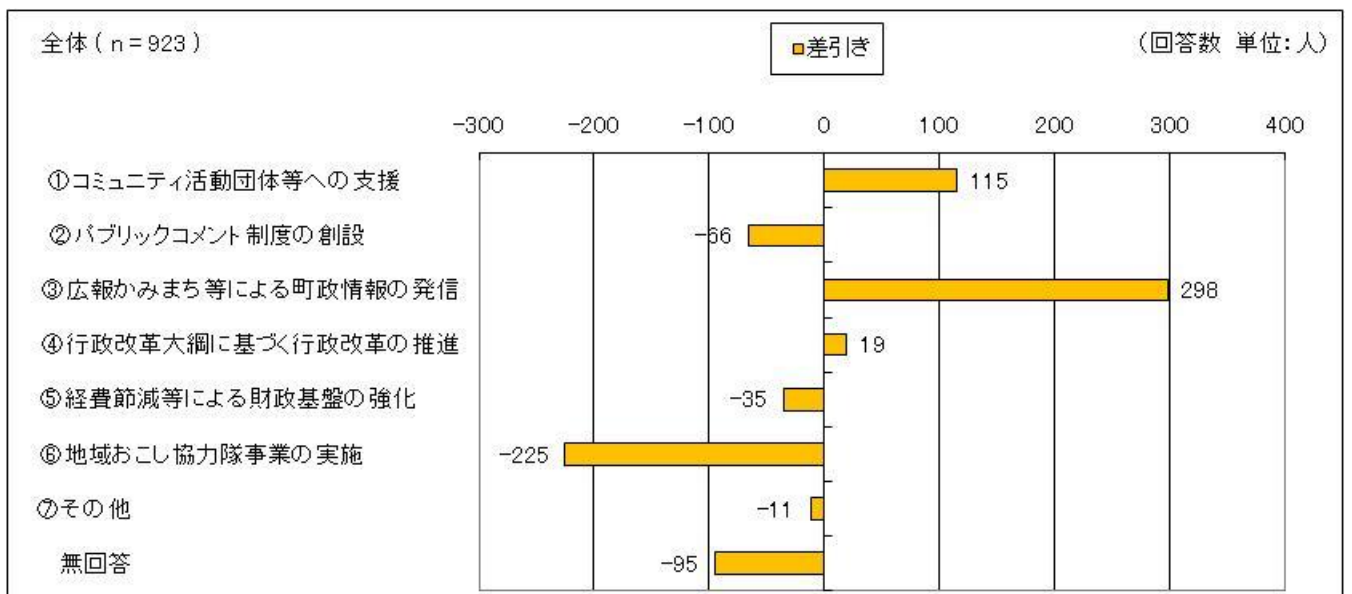
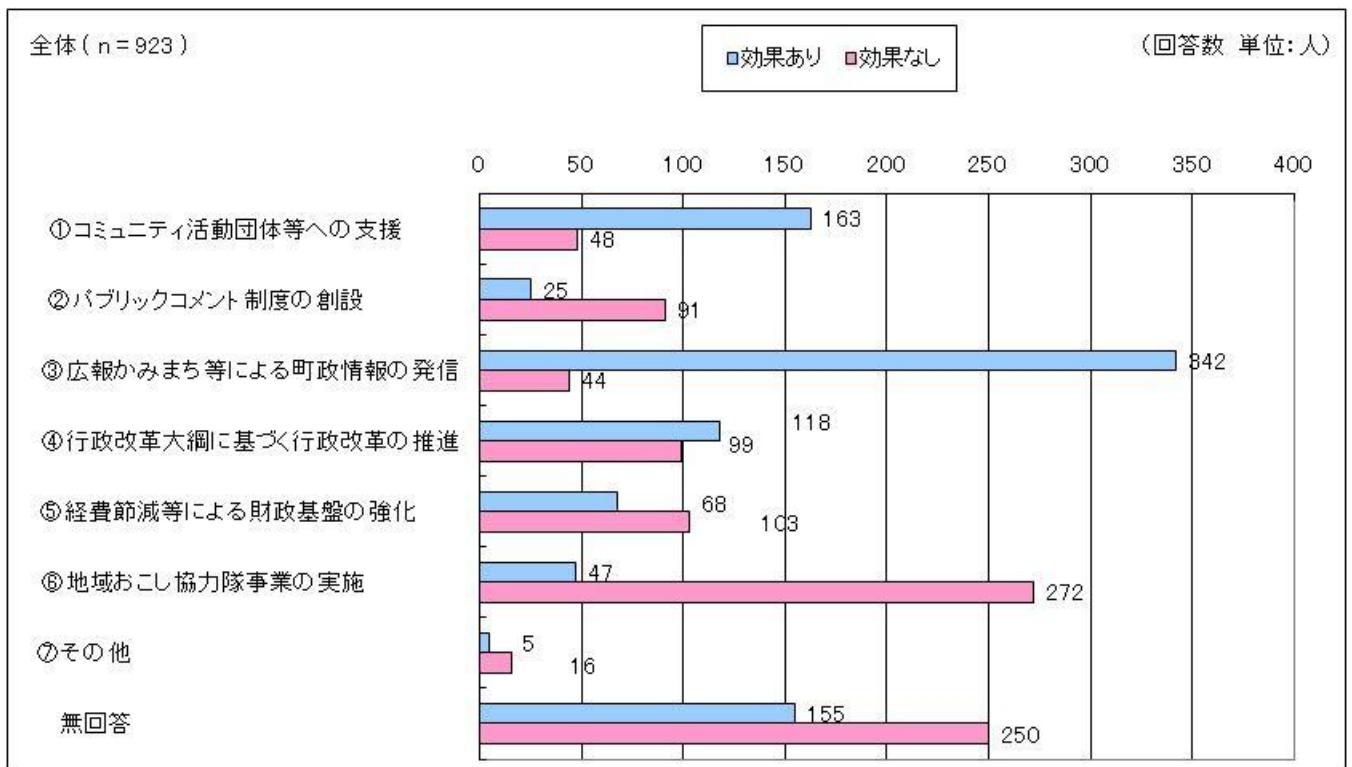


○町が行ってきた施策について、効果のあったと思う事業、効果のなかったと思う事業について。

「効果あり」と思う回答数から「効果なし」と思う回答数を差引すると、「広報かみまち等による町政情報の発信」が298件、「コミュニティ活動団体等への支援」が115件、「行政改革大綱に基づく行政改革の推進」が19件のプラス評価となった一方、「経費節減等による町財政基盤の強化」が-35件、「パブリックコメント制度の創設」が-66件、「地域おこし協力隊事業の実施」が-225件のマイナス評価となりました。

項 目	効果あり		効果なし	
	回答数(人)	回答比(%)	回答数(人)	回答比(%)
1 コミュニティ活動団体等への支援	163	17.7	48	5.2
2 パブリックコメント制度の創設	25	2.7	91	9.9
3 広報かみまち等による町政情報の発信	342	37.1	44	4.8
4 行政改革大綱に基づく行政改革の推進	118	12.8	99	10.7
5 経費節減等による財政基盤の強化	68	7.4	103	11.2
6 地域おこし協力隊事業の実施	47	5.1	272	29.5
7 その他	5	0.5	16	1.7
8 無回答	155	16.8	250	27.1
計	923	100.0	923	100.0

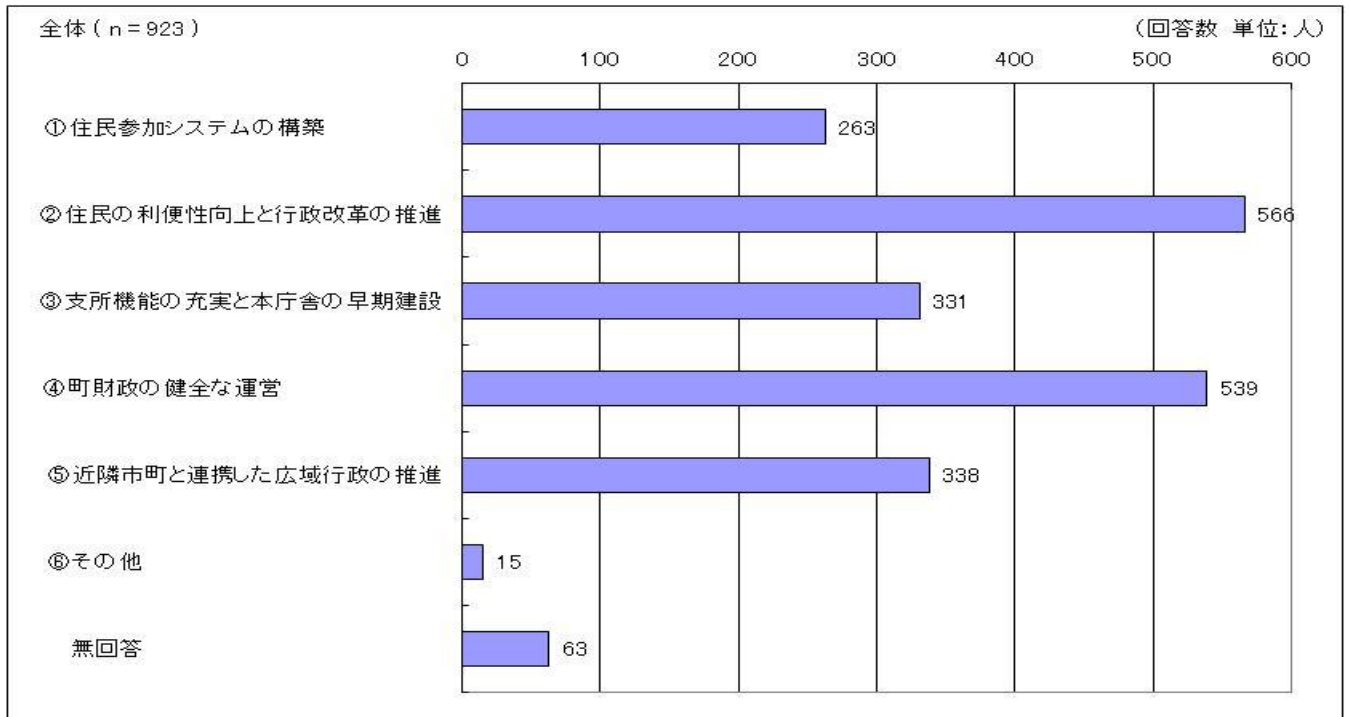
2 アンケート調査結果の概要



2 アンケート調査結果の概要

○協働によるまちづくり分野で重点的に実施すべき施策について

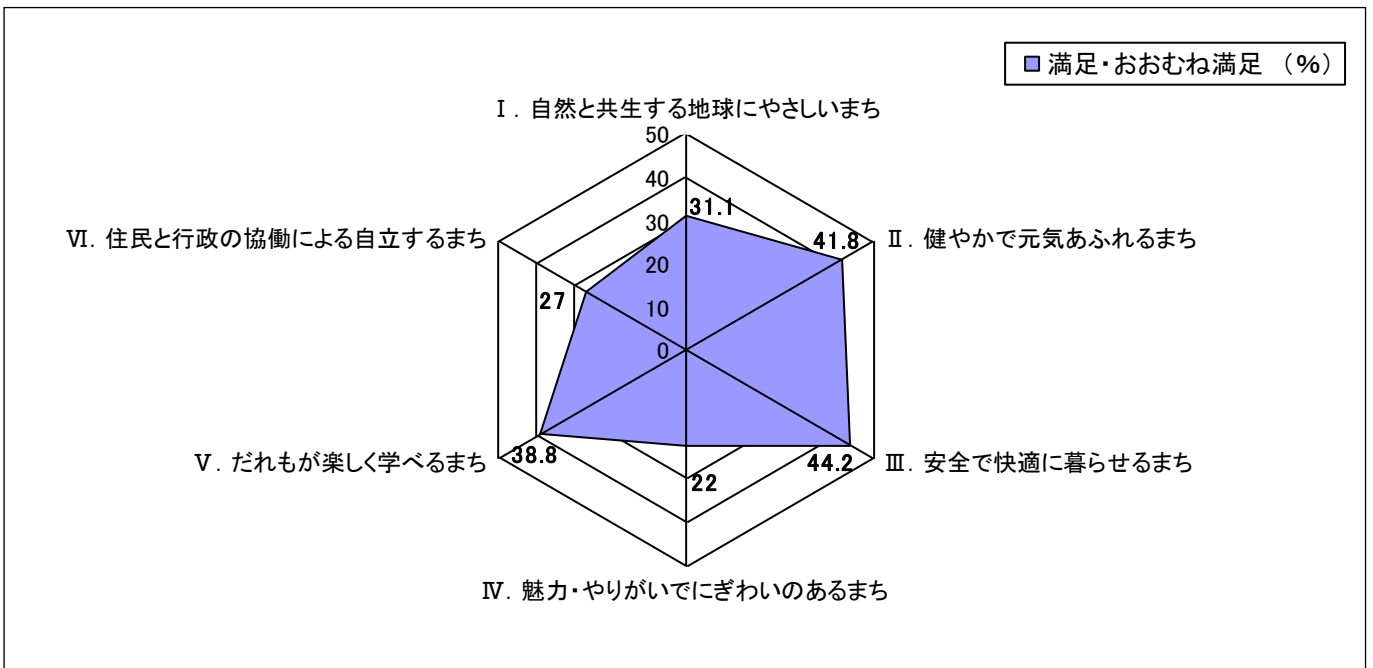
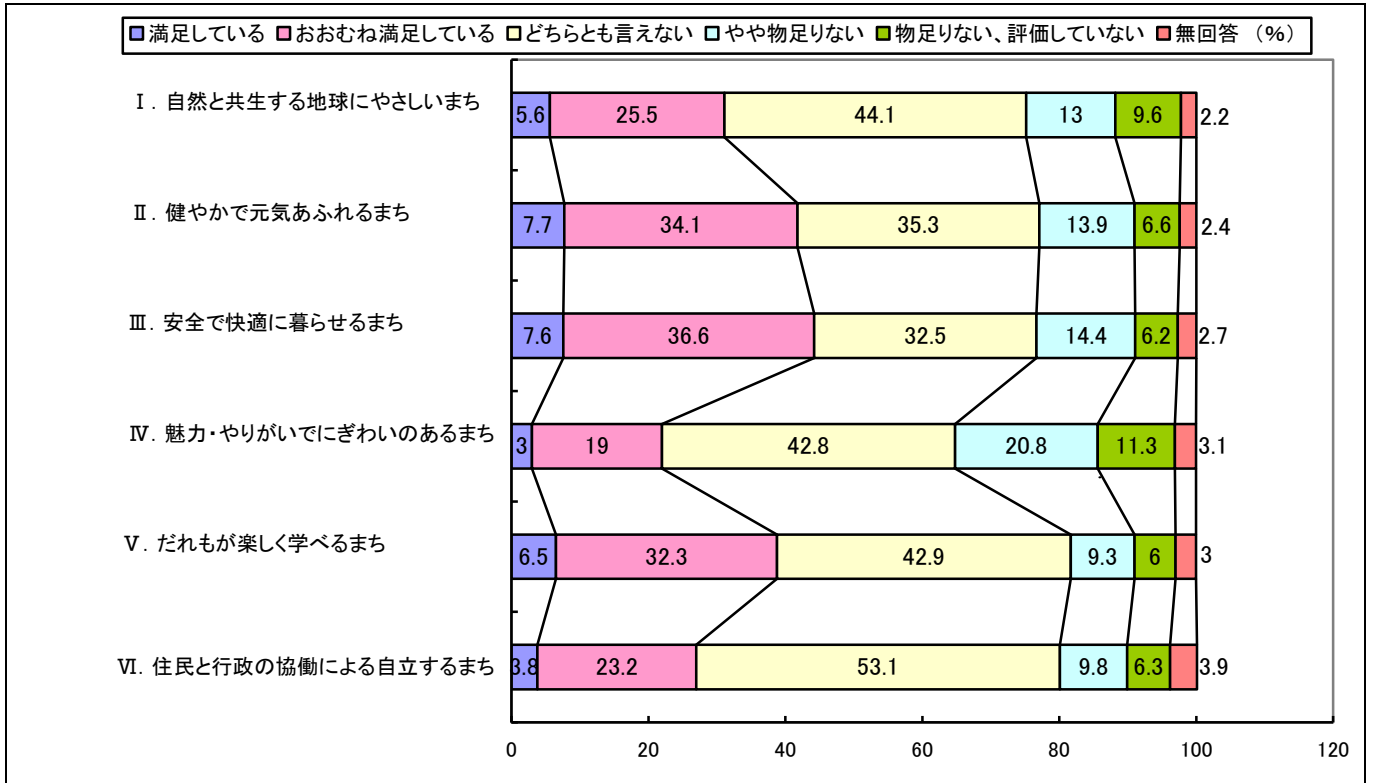
集計の結果から、住民と行政との協働によるまちづくりの分野で、町が重点的に実施してほしい施策の順位は、「住民の利便性向上と行政改革の推進」566件、「町財政の健全な運営」539件、「近隣市町村と連携した広域改革の推進」338件、「支所機能の充実と本庁舎の早期建設」331件、「住民参加システムの構築」263件でした。



2 アンケート調査結果の概要

○現在の暮らしの満足度

現在の暮らしの満足度は、「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」が44.2%と最も高く、次いで「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」が41.8%、「だれもが楽しく学べるまち」が38.8%でした。



2 アンケート調査結果の概要

〇まちづくりのための重点施策について（優先度順）

施策ごとの優先順位は以下のとおりです。

※Ⅱ～Ⅵは複数回答となっています。

